



photo. 長崎西高等学校 写真部

NAGASAKI WEST HIGH SCHOOL

WWW.NAGASAKIWEST.COM

長崎県立長崎西高等学校同窓会

FRIENDLY

VOL.12



ご挨拶



長崎西高同窓会

会長 濱崎 宏明
はまさき こうめい
 (26回生)

西高同窓会の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平成23年に就任しました私ども役員体制も6年が過ぎようとしています。最初に送り出した卒業生もすでに社会人2年目を迎えており、月日の過ぎるのは本当に早いものだと感じております。

6年前の在校生はひと学年320名で、私たちの在籍した頃の6割程度しかおらず驚いたものでしたが、今年の新入生はさらに減って280名。ついに半分を切っています。少子化の現実を見せつけられるとともに、少数精鋭の時代に入ったことを感じさせられます。

した。

そういう状況に置かれながらも、西高生は素晴らしい活躍をしています。勉強においては、昨年度69回生は東大現役合格5名を含め182名が国公立大学へ進むなど、各年度で長崎県下公立高校ナンバーワンはいうまでもなく、九州のトップ校のひとつとして成績向上に真摯に努力しています。またスポーツでは、バスケットボール、カヌー、水球などが県下トップクラスの成績を継続していますし、文化部においても生物部、物理部、地学部、放送部などが長崎県内のみならず全国大会でも優秀な成績を残しています。

このような素晴らしい成果は、生徒たちの日頃からの努力はもちろんのこと、校長先生をはじめとする先生方の不断のご指導の賜物です。私たち同窓会はそういう頑張っている生徒たちや先生方の応援団として、今後も側面から支えていきたいと思っています。

長崎西高は来年初立70周年の節目を迎えます。そこで、今回の「ふれんど

りい」は、創立70周年特集でお届けします。卒業年度を10回ずつ一区切りにして、7名の方々に在校当時の思い出などをインタビュースし、懐かしい写真等で構成しました。それぞれの年代でお楽しみいただければ幸いです。

これから長崎西高同窓会並びに長崎西高のさらなる発展のために、どうぞ皆様方の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



※写真部(もっと高く!)



長崎西高在京同窓会

会長 宮崎 良
みやざき りょう
(34回生)

平成29年1月1日より3年の任期で長崎西高在京同窓会の会長を務めることになりました34回生の宮崎良でございます。よろしくお願い申し上げます。

長崎西高在京同窓会は今年の9月30日に44回目の同窓会総会を開催する運びとなりました。これもひとえに長崎西高並びに各同窓会と同窓生のご支援・ご協力の賜物と感謝しております。

我々34回生が3年生の時に野球部が夏の甲子園に出場いたしました。受験生にもかかわらず私を含めたくさんの生徒が甲子園まで応援に行きました。

その時、同窓会の先輩方のたくさんのご支援を頂いたということを感じて感激いたしました。ご恩返しというわけではございませんが、西高と同窓生の皆様のために微力を尽くしてまいりますので、よろしくお引きくだてくださいようお願い申し上げます。

さて、長崎西高在京同窓会には一千五百名ほどの同窓生がいらっしやいます。同窓生の親睦と交流を図り西高の発展に寄与するため、先程申し上げた総会の他に、就活生を対象とした2月

の就活セミナー、ビードロ会主催の4月のハタ揚げ大会、新卒生を歓迎する5月のピュアエイジクラブ、8月の東京大学オープンキャンパスに参加する西高生のための先輩講話、などのイベントの運営や支援を実施しております。すべての活動をご紹介すると長くなってしまいますので長崎西高在京同窓会のホームページを検索して御覧いただければと存じます。

末筆ながら同窓会の皆様の益々の発展とご健勝を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



長崎西高関西同窓会

会長 原 清
はら きよし
(23回生)

長崎西高同窓会の皆さまには益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。私は関西同窓会会長で23回生の原清でございます。

今日は、英国のEU離脱問題や米国の新政権の政策方針など、先を見通せない状況が続いていますが、これまで常識とされていたことを振り返ったり議論したりするいい機会になったと逆に捉えることができるのかもしれない。いろいろな分野や地域で活躍なさっている長崎西高の卒業生も、いまや3万5千人を超える規模にまで成長を遂げています。特に昨今の長崎西高は、学業および部活動においてすばらしい実績を残され、「全国区の公立高校トップクラス」に躍進しています。母校の校歌を高らかに歌うことができることを卒業生の一人として誇らしく思っています。

さて、私たちの関西同窓会は、昭和56年の夏、野球部の甲子園出場を機に発足し、34年間にわたって活動しています。(今まで同様これからも甲子園出場を待ち続けます)

同窓会の目指すところは、「元気の源になり役に立つ同窓会」です。「同じ学び舎で育ち、何かの縁があつて関西地区に出てきている」というキーワードで、ともに故郷を懐かしみ母校を応援し、今を語り合い明日を想いつつ、業種や世代を超え交流を深めることによつて、皆さんの元気の源になるだけでなく、会社生活や人生設計に少しでもお役に立っていただければと思つて活動しています。

主な活動は、同窓会の機関紙「自律の園」作成と毎年秋の総会の開催です。また、若手中心のフレッシュ・オークメンバーズ活動はすでに6年目となり、バーベキューを行つたり、関西の名所を散策したりして楽しい1日を過ごしております。ゴルフやボウリングも企画しています。

関西地区にいらつしやる方は、是非とも気軽に「ご参加されることを願っています」。

それでは、同窓会の皆さまの今後の「健勝とご活躍を祈念し、「ご挨拶とさせていただきます」。



長崎西高福岡同窓会
会長 柳瀬 雅子
やなせ まさこ
(25回生)

長崎西高同窓の皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

福岡同窓会は昨年は1のつく回生が幹事でした。実行委員長は31回生井澤さん、いつもながら、10年毎の歳の差を感じさせず、素晴らしいチームワークで懇親会をお世話してくださいました。195名の方が集いました。

今年で4年目となるコーラス部の合唱から始まり、長崎から山口セイコー QUARTET に来ていただき、JAZZの演奏でした。山口さん(28回生)平石さん(28回生)、松永さん(33回生)本当にありがとうございました。とても驚沢な癒しのひと時となりました。また、旧職員の水敏先生のスピーチ、「現在の西高の繁栄は、今の先生、生徒の頑張りだけではなく、各同窓会、同窓生の熱気があつてこそのものである」とのお言葉は、同窓会の意義を強く再確認するものであり、大変嬉しく目頭が熱くなりました。

皆様の思いはずっと後輩?に伝わっているのです。西先生、感謝申し上げます。

福岡では「若つかもん倶楽部」を秋に開催していますが、昨年も多くの学生、社会人に参加していただきました。どうか皆様、お知り合いに若い同窓生がいらしたら、お声かけをお願いいたします。

福岡同窓会は、母校創立50周年を機に平成10年に発足し、今年で第20年目を迎えます。

私もあつという間に6年、2期を務めさせていただき、今年から平松一雄さん(29回生)にバトンタッチの予定です。言葉では言い尽くせないほどの貴重な経験をさせていただきました。引き続き、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。





東海長崎西高同窓会

会長 神田 晋

かんだ すずむ

(25回生)

長崎西高同窓会の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

母校の文武両道での輝かしい活躍ぶりに、日々元氣と勇氣を頂き、また心から誇らしく思います。

東海同窓会では、第6回総会懇親会を思い切ってホテルラウンジ貸切りとし、アットホームで若い方が気軽に参加できるスタイルにしてみました。名古屋ナンバーワンホテルならではの豪華な料理を食べながら旧交を温め、クイズ・ゲーム・カラオケを楽しみました。同窓会は年に一度の集いですが、諸先輩方から刺激を受け適切なアドバイスを頂き、情報やアイデアそして元氣勇氣を感じる場でもあります。若手の親睦会「なごやん?楽部」も軌道に乗りつつあり、当地区に來られた2名ももちろん参加されます。これから成長していく優秀な若手に良い刺激の場となれば幸いです。今後はボウリング・BBQ・バス旅行など皆様が集える場を提供していきたいと考えています。当地区は県人会活動や他の同窓会活動

も活発です。横の連携・共催企画などもできればと願っています。
来年は70周年を迎えます。各同窓会の益々のご発展と長崎西高同窓生皆様のご健勝・ご活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。

